



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
 コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044(850)1320
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,915	30.7	456	38.1	421	27.4	279	25.0
2022年3月期第3四半期	2,230	4.6	330	11.8	330	11.4	223	9.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 279百万円 (25.0%) 2022年3月期第3四半期 223百万円 (9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	119.75	117.20
2022年3月期第3四半期	93.96	91.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,097	3,603	44.5
2022年3月期	7,107	2,509	35.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,603百万円 2022年3月期 2,509百万円

(注) 2023年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,860	29.6	535	21.8	540	22.9	365	27.2	149.94

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第3四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,836,200株	2022年3月期	2,436,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	104,616株	2022年3月期	109,616株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,336,967株	2022年3月期3Q	2,382,922株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(企業結合等関係)	6
3. 補足説明	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに持ち直しました。鉱工業生産は、供給制約の影響で一進一退の動きとなりました。設備投資は高水準の企業収益を背景に底堅く推移しました。個人消費は、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復しました。貿易収支は、原油高や円安に伴う輸入価格の上昇を主因として2021年夏場以降、赤字が続いております。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でペットとの生活に癒しを求める動きが強まり、2021年の新規犬猫飼育頭数は過去9年で最多となり、これまで減少傾向にあった犬猫飼育頭数は微増となりました。また、犬猫の高齢化に伴い、疾病が多様化する中で飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請は高まってきております。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組みつつ、日頃の診療活動を通じた一次診療施設とのコミュニケーション強化を継続するとともに、対面での開催が再開された学会における発表・報告等の活動を積極的に行うことにより、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。

また、2022年3月に子会社化したしましだテルコム株式会社は、従来通り飼い主や一次診療施設へのサービス提供に努めつつ、当社グループ各社との協力体制構築による経営効率改善を進めております。その結果、初診数(新規に受け入れた症例数)は5,809件(前年同期比7.0%増)、総診療数(初診数と再診数の合計)は21,348件(前年同期比0.1%減)、手術数は1,718件(前年同期比10.3%増)となりました。

なお、2022年12月に第三者割当増資を実行し、今後の積極的な事業展開に必要な資金811,200千円を調達いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,915,250千円(前年同期比30.7%増)、営業利益は456,863千円(前年同期比38.1%増)、経常利益は421,478千円(前年同期比27.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は279,853千円(前年同期比25.0%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,365,828千円となり、前連結会計年度末に比べ826,050千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が877,610千円、売掛金が19,563千円増加した一方で、前渡金が37,730千円、未収入金が11,081千円、未収還付消費税等が14,308千円減少したことによるものであります。固定資産は5,731,500千円となり、前連結会計年度末に比べ163,680千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が239,009千円、工具、器具及び備品が119,575千円増加した一方で減価償却累計額が176,078千円増加したものであります。

この結果、総資産は、8,097,328千円となり、前連結会計年度末に比べ989,730千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,015,646千円となり、前連結会計年度末に比べ49,932千円増加いたしました。これは主に未払費用が20,692千円、未払消費税等が17,874千円、預り金が17,983千円、1年内返済予定の長期借入金が14,510千円増加した一方で賞与引当金が34,720千円減少したことによるものであります。また、固定負債は3,478,205千円となり、前連結会計年度末に比べ153,755千円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、4,493,852千円となり、前連結会計年度末に比べ103,822千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,603,476千円となり、前連結会計年度末に比べ1,093,553千円増加いたしました。これは主に第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ405,600千円の増加、及び親会社株主に帰属する四半期純利益279,853千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社4番目の二次診療施設として現在開院準備中の大阪病院につきましては、建設工事は順調に進捗しており2月に竣工予定であります。しかしながら、必要な機器・物品の一部の入手が遅延しており、開院は当初予定の3月から5月に変更となる見込みであります。

なお、2023年3月期の連結業績予想につきましては、上記大阪病院の開院時期変更による影響は軽微であり、当第3四半期連結累計期間の業績を含めて検討した結果、2022年5月12日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,068,595	1,946,206
売掛金及び契約資産	228,993	248,556
商品	119,070	121,534
原材料及び貯蔵品	9,760	9,673
その他	121,148	46,923
貸倒引当金	△7,790	△7,065
流動資産合計	1,539,777	2,365,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,531,803	1,457,490
土地	2,248,337	2,248,337
その他(純額)	929,346	1,193,973
有形固定資産合計	4,709,488	4,899,802
無形固定資産		
のれん	203,698	188,421
商標権	435,464	402,804
その他	26,279	21,290
無形固定資産合計	665,442	612,516
投資その他の資産	192,889	219,182
固定資産合計	5,567,820	5,731,500
資産合計	7,107,598	8,097,328
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,642	66,182
1年内返済予定の長期借入金	546,376	560,886
未払法人税等	88,562	97,232
賞与引当金	79,335	44,615
その他	185,796	246,729
流動負債合計	965,713	1,015,646
固定負債		
長期借入金	3,375,581	3,250,067
退職給付に係る負債	27,100	31,600
繰延税金負債	165,696	137,181
資産除去債務	40,501	40,982
その他	23,081	18,375
固定負債合計	3,631,961	3,478,205
負債合計	4,597,674	4,493,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	385,500	791,100
資本剰余金	315,717	715,328
利益剰余金	1,994,792	2,274,645
自己株式	△186,086	△177,598
株主資本合計	2,509,923	3,603,476
純資産合計	2,509,923	3,603,476
負債純資産合計	7,107,598	8,097,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,230,636	2,915,250
売上原価	1,403,608	1,817,754
売上総利益	827,027	1,097,495
販売費及び一般管理費	496,127	640,631
営業利益	330,900	456,863
営業外収益		
受取家賃	17,520	17,520
物品売却益	—	5,518
その他	3,148	8,484
営業外収益合計	20,669	31,524
営業外費用		
支払利息	9,197	13,362
資金調達費用	10,266	3,374
固定資産除却損	1,013	11,607
株式交付費	—	35,948
その他	246	2,616
営業外費用合計	20,723	66,909
経常利益	330,845	421,478
特別利益		
固定資産売却益	—	28
特別利益合計	—	28
特別損失		
移転関連費用	6,282	—
特別損失合計	6,282	—
税金等調整前四半期純利益	324,563	421,506
法人税等	100,658	141,653
四半期純利益	223,905	279,853
親会社株主に帰属する四半期純利益	223,905	279,853

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	223,905	279,853
四半期包括利益	223,905	279,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,905	279,853

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月26日付で、KCPエクイティアシスト1号投資事業有限責任組合及びサンリツサービス株式会社から第三者割当増資による払込みを受け、資本金が405,600千円、資本剰余金が405,600千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が791,100千円、資本剰余金が715,328千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2022年3月18日に行われたテルコム株式会社との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行ってりましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額489,732千円は、会計処理の確定により286,033千円減少し、203,698千円となっております。また、前連結会計年度末の商標権は435,381千円、繰延税金負債は140,687千円それぞれ増加しております。

3. 補足説明

当社グループは、動物医療関係事業の単一セグメントであります。つきましては、補足情報として、主要な売上の区分についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

(単位：千円・%)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
二次診療サービス	1,808,813	81.1	1,961,843	67.3
画像診断サービス	393,227	17.6	353,383	12.1
健康管理機器レンタル・販売サービス	—	—	590,908	20.3
その他	28,595	1.3	9,115	0.3
顧客との契約から生じる収益	2,230,636	100.0	2,915,250	100.0
外部顧客への売上高	2,230,636	100.0	2,915,250	100.0

(注) グループ間の取引については相殺消去しております。